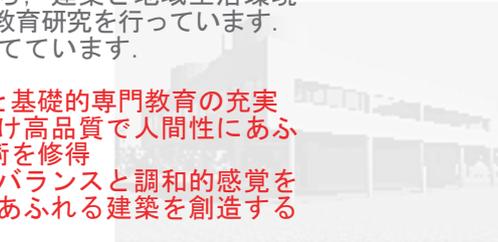


コースの概要

本コースは建築学を主体とし、さらに幅広い関連分野の研究を実施できるような体制をとりながら、建築と地域生活環境についての計画・設計・施工に関する教育研究を行っています。教育については、以下の3本の柱を立てています。

- ① 建築を好きになるための導入教育と基礎的専門教育の充実
- ② コンピュータリテラシーを身につけ高品質で人間性にあふれる豊かな建築空間を創造する技術を修得
- ③ 建築学で求められる専門技術的なバランスと調和的感覚を確立し、機能的で福祉マインドにあふれる建築を創造するための包括的な建築教育

卒業後2年間の実務経験者には一級建築士の受験資格が与えられます。



コースの2大講座

建築環境計画講座

建築環境工学・建築設備（環境系研究室）

建築計画・都市計画（計画系研究室）

- 大鶴研究室（建築環境工学:音響）
- 真鍋研究室（建築環境工学:光・熱環境）
- 酒井研究室（建築環境工学:空気環境）
- 佐藤（誠）・小林研究室（建築、都市・地域計画）
- 鈴木研究室（建築計画）

建築構造設計講座

建築構造・構造設計（構造系研究室）

建築材料・建築施工（材料系研究室）

- 井上研究室（建築構造・木質構造）
- 菊池研究室（建築構造・耐震構造）
- 佐藤（嘉）・福田研究室（建築材料・コンクリート工学）

「建築とは一種の闘いである」	「すべての科学技術がその使命を全うした時、（ミース・ファン・デル・ローエ）」	「建築とは、人間が住むための機械である」
(安藤忠雄)		(ル・コルビュゼ)

コースの組織

本コースでは、大きく4つの教育研究分野を設定しています。これらの分野は従来から建築学のなかで必要とされる基礎的専門教育を施すとともに今後発展する建築学の方向性を想定し、柔軟で持続的な教育研究組織として必要であると考えています。建築コースは2大講座で構成されています。

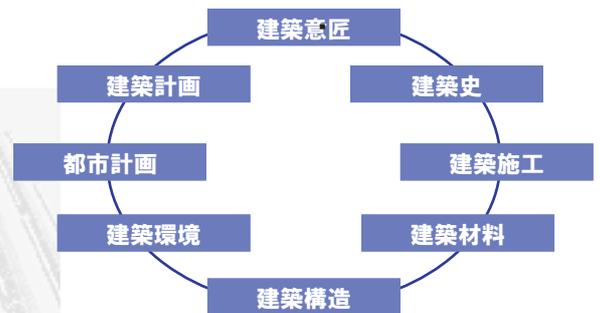
- 【環境系】 建築の熱・光・音環境...
- 【計画系】 都市の土地利用、景観、緑地環境...
..... 障害者のための生活空間...
- 【構造系】 環境と共生する木質構造...
..... 耐震補強による建築の長寿命化と有効利用...
- 【材料系】 コンクリートなどの建築材料のリサイクル...

これらは環境共生、障害者福祉、循環型社会、省資源・省エネルギーなど現代的な研究課題です。また、外国人留学生の受け入れ、外国との共同研究活動など国際的な教育研究の積極的な展開が本コースの特色です。

アドミッションポリシー

建築コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力と幅広い知識を持つ建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本学科では以下のような意欲と情熱を持つ人を求めています。

- ① 工学、人文、社会科学並びに芸術の分野に関心があり、幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートを目指している人
- ② 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志のある人
- ③ 自ら課題を提議し、それを解決できる行動力と柔軟な思考力を持っている人



高度な品質で豊かな人間居住空間を創造
建築学の持続的発展と有為な人材の育成
人類の福祉と地域の発展に寄与

